

平成 **29** 年度

提出する年度を入力
してください。

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
Ⅲ類	Ⅰ類 A事業所のみを有する特定事業者 Ⅱ類 B事業所を有する特定事業者 (Ⅲ類の事業者を除く) Ⅲ類 C事業所を有する特定事業者 Ⅳ類 任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	三井不動産株式会社	
所在地	東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号	
事業者番号	0142	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	11,479	kL/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500KL未満で延床面積 10,000m ² 以上の事業所)	60,000	m ²
産業分類名 (中分類)	不動産賃貸業・管理業 (テナントビルを含む)	
分類番号 (中分類)	69	
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、 資本金等)	事業概要： 街づくり推進事業、海外事業、オフィスビル事業、 商業施設事業、ホテル事業・リゾート事業、 不動産ソリューションサービス事業、 ロジスティクス事業、ベンチャー共創事業、 S & E 総合研究所、ケアデザイン室 従業員数： 1,397名 (2017年3月31日現在) 資本金： 339,766百万円 (2017年3月31日現在)	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)		

(3) 県内に設置している事業所

(自動転記)

事業所種別	事業所番号	事業所名	前年度の原油換算エネルギー使用量(kL)
A、Bテナント等事業所			
A	14200	三井不動産ロジスティクスパーク八潮(屋上PV除く)	68
B、C事業所			
B	14203	ららぽーと富士見	8,448
C	14201	ララガーデン川口	2,963
合計			11,479

(4) 公表方法

<input type="radio"/>	インターネット利用による公表	アドレス	http://www.mitsuifudosan.co.jp
<input type="checkbox"/>	事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	
		所在地 1	
		閲覧可能時間 1	
		閲覧場所 2	
		所在地 2	
		閲覧可能時間 2	
<input type="checkbox"/>	その他		

(5) 公表の担当部署

	名称 (複数可)	連絡先		
		電話番号	FAX番号	E-mailアドレス※
1	社会・環境推進室	03-3246-3063	03-3246-3167	
2				
3				

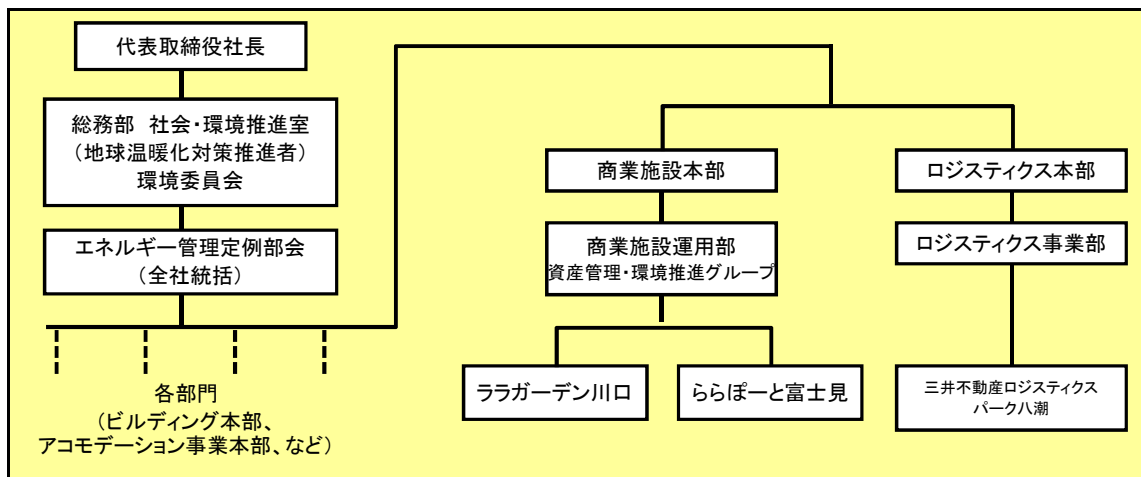
※ 担当者個人のメールアドレスは記入しないこと。

2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

三井不動産グループ環境方針

1. 環境効率性の向上と環境負荷の低減、省エネルギー・省資源と廃棄物削減、汚染の防止に努め、地球温暖化対策と循環型社会の形成をめざします。
2. 低炭素に加え、水環境・生物多様性の保全、分散・自立型エネルギーの導入などを幅広く、統合的に推進し、環境負荷の低減と安全・安心、快適性の向上の双方をめざします。
3. 顧客、地域、行政などコミュニティと連携・協力して、「環境との共生」に積極的に取り組み、持続的発展が可能なまちづくりと、実効性の高い環境施策を展開します。
4. スマートシティなど環境配慮型まちづくりを国内外で展開し、未来のまちづくりをリードする環境先進企業をめざします。
5. 環境関連の法規制の遵守はもとより、必要に応じ独自の基準を定めて、「環境との共生」を推進します。
6. 環境教育、啓発活動などにより、三井不動産グループ全従業員に環境方針の周知徹底と環境意識の向上を図ります。
7. 環境への取り組み状況など、必要な情報の開示に努め、広報活動などを通じて広く社会とコミュニケーションを図ります。

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量(事業所合算)の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

	27年度 (2015年度)	28年度 (2016年度)	29年度 (2017年度)	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)
エネルギー起源CO ₂	23,100	22,306			
その他ガス					
温室効果ガスの合計	23,100	22,306			

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

平成 29 年度

事業者番号	142	事業所番号	014200
-------	-----	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	三井不動産ロジスティクスパーク八潮(屋上PV除く)	前年度における事業所数	2
代表事業所所在地	市区町村	八潮市南後谷	
	字・地番	99番1	
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)			
産業分類名(中分類)	倉庫業		
分類番号(中分類)	47		
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	不動産業による貸倉庫 敷地面積:23,422.23m2 ※2016年8月2日売却	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間	27	年度	～	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	削減目標の設定に際し、平成27年度の排出実績を鑑みてCO2排出原単位 0.0091(t-CO2/m2)を基準として、基準から年平均1%以上ずつ低減できるよう取り組みの検討および可能な事項の実施を図ります。ただし入居率、テナント専用部での使用形態等が将来的に変化することを鑑み、基準目標値は前年度の排出実績等を考慮して適時見直すこととします。			
	その他ガス	該当がありません。			

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間		年度	～		年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)				
	その他ガス				

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	三井不動産ロジスティクスパーク八潮(屋上PV除く)	八潮市南後谷99番1
2	三井不動産ロジスティクスパーク八潮(屋上PVのみ)	八潮市南後谷99番1
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

日本工業規格A列4番

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	196	68			

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算(t-CO₂)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源 CO ₂		382	132			
その他 ガス	非エネルギー起源 CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		382	132			

(3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算(t-CO₂/指標)

				計画期間				
				27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源 CO ₂ 排出量原単位				0.0091	0.0094			
活動規模の指標	○	床面積	m ²	41,943	13,981			

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

A事業所

No	対策の区分			対策概要	実施年度	推計削減量(t) (一年度当たり)
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	エネルギー管理の体制構築を図る	H26以前	
2	110300	一般管理事項	11_計測及び記録の管理	エネルギーの毎月の使用量の把握に努める	H26以前	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

三井不動産グループの「社会・環境への取り組み2016」をウェブサイトで公表しております。
「三井不動産トップページ」→「&EARTH 社会貢献・環境活動」
<http://www.mitsui-fudosan.co.jp/corporate/csr/2016/index.html>

物件売却により稼働月は4月～7月の4ヶ月のみ

平成	29	年度	事業者番号	142	事業所番号	014203
----	----	----	-------	-----	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	B 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL以上の事業所(種別Cの事業所を除く)
-------	--

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	ららぽーと富士見		
事業所所在地	市区町村	富士見市山室	
	字・地番	一丁目1313番	
産業分類名(中分類)	各種商品小売業		
分類番号(中分類)	56		
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	商業施設の不動産賃貸業 従業員数 約2000[人] 敷地面積 152,055.88[m ²]、店舗面積約60,000[m ²] 平成27年2月28日竣工、平成27年4月10日開業	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間		27	年度	～	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	B事業所に該当する期間においては、平成27年度排出量(16,944t-CO ₂)を基準として、前年度より毎年1%以上の削減を目指します。平成30年度からはC事業所となる見込みであるため、基準排出量が決定するまでは平成27年度～29年度の排出量平均を暫定基準として、平成30年度～31年度の排出量を8%以上削減できるよう取り組みを推進します。				
	その他ガス	該当がありません。				
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)		t-CO ₂	事業所区分		
	削減目標量(計画期間合計)		t-CO ₂			

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間			年度	～		年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)					
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	8,714	8,448			

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

 CO₂換算(t-CO₂)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂		16,944	16,425			
その他 ガス	非エネルギー起源CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		16,944	16,425			

 (3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

 CO₂換算(t-CO₂/指標)

				計画期間				
				27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位				0.0922	0.0893			
活動規模の指標	○	床面積	m ²	183,859	183,859			

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対策の区分			対策概要	実施年度	推計削減量 (t) (一年度当たり)
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	エネルギー管理体制の構築	H27年度	
2	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	エネルギー消費設備の運用基準をエネルギー管理標準として整備	H27年度	
3	110200	一般管理事項	11_主要設備等の保全管理	熱源設備・空調設備、受変電設備の定期保全の実施	H27年度	
4	110300	一般管理事項	11_計測及び記録の管理	エネルギー消費量の記録を日報、月報で整理して増減傾向の把握等に活用	H27年度	
5	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	空調設備の設定温度を、季節変動等の環境変化に合わせて随時見直しを図り、適正管理を実施	H27年度	
6	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	不要時間帯、区画の消灯管理を行う	H27年度	
7	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	共用部の中央式空調機の風量を適切に管理	H28年度	107
8	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	テナント部の外調機の風量を適切に管理 (同一系統の排気ファンを含む)	H28年度	72
9	150100	受変電設備、照明設備、電気設備	15_受変電設備の管理	デマンド監視によるピーク電力把握を行い、最大電力を抑制するため管理する	H28年度	
10						
11						
12						
13						
14						
15						

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

三井不動産グループの「社会・環境への取り組み2016」をウェブサイトで公表しております。
「三井不動産トップページ」→「&EARTH 社会貢献・環境活動」
<http://www.mitsui-fudosan.co.jp/corporate/csr/2016/index.html>

ららぽーと富士見の取り組み

- ・ライトダウンキャンペーン期間中に館内/屋外照明を消灯し、来館者への環境意識啓発
- ・水資源保護のため節水型機器の使用と雨水再利用
- ・壁面緑化、芝生駐車場による周辺環境への負荷低減
- ・エントランス付近に設置したハイブリット照明設備により、来館者への環境意識啓発
- ・EV(電気自動車)充電器の設置し、来館者へのEV利用の促進

平成 29 年度

事業者番号	142	事業所番号	014201
-------	-----	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあっては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
C	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	ララガーデン川口		
事業所所在地	市区町村	川口市	
	字・地番	宮町18番9号	
産業分類名(中分類)	各種商品小売業		
分類番号(中分類)	56		
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	商業施設の不動産賃貸業 従業員数:約400名 敷地面積:30,464.06[m ²]	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間		27	年度	~	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	第2計画期間は、基準排出量に対し削減計画期間の平均削減率を15%以上とします。				
	その他ガス	該当がありません。				
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量 (計画期間合計)	30,572	t-CO ₂	/		
	削減目標量 (計画期間合計)	4,813	t-CO ₂	事業所区分	第1区分-(1)	

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間		年度	~	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	/		
	その他ガス	/		

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	2,976	2,963			

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

 CO₂換算(t-CO₂)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂		5,774	5,749			
その他 ガス	非エネルギー起源CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		5,774	5,749			

 (3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

 CO₂換算(t-CO₂/指標)

				計画期間				
				27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位				0.0959	0.0955			
活動規模の指標	○	床面積	m ²	60,179	60,179			

日本工業規格A列4番

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	7,077	t-CO ₂ /年
基準排出量検証	基準年度検証実施済	

(2) 基準排出量の変更

変更年度		変更量	
変更年度		変更量	
変更年度		変更量	

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第1区分- (1)
----------	-----------

(4) 削減計画期間

27	年度から	31	年度まで
----	------	----	------

(5) 年度ごとの状況

		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	削減期間 合計	
基準 排 出 量 等	基準排出量(A)	7,077	7,077	7,077	7,077	7,077	35,385	
	トップレベル認定							
	目標削減率(B)	8.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%		
	排出上限量 (C = Σ A-D)							30,572
	排出削減目標量 (D = Σ (A×B))							4,813
実績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	5,774	5,749				11,523	
	排出削減量 (F = A - E)	1,303	1,328				2,631	
特例	高効率設備の 算定量(※)							

※ 算定を希望する場合のみ記入する。別途、算定資料(任意様式)を添付すること。

(6) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

平成28年度のCO₂排出量は前年比99.6%で0.4%の削減となった。
 ・夏季の外気温が高く空調用途ガス消費が増加した。(ガス消費前年比プラス3.9%)
 ・立体駐車場等の照明LED化や共用部空調機の適正運用の継続などにより電力消費量は低減した。(前年比マイナス2.7%)
 ・営業時間など事業所の運用に大きな変更はなく、結果的に事業所全体のエネルギー起源CO₂排出量は0.4%の削減となった。

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対策の区分			対策概要	実施年度	推計削減量(t) (一年度当たり)
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	120500	熱源設備・熱搬送設備	12_熱搬送設備の運転管理	冷却水・冷温水ポンプのインバーターによる可変流量制御	H26以前	71
2	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	外調機、給排気ファンのインバーターによる可変風量制御	H26以前	89
3	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	高効率照明(LED)の導入 店舗内共用部・外灯のLED化を実施(平成25年度)	H26以前	207
4	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	高効率照明(LED)の導入 テナント区画内のLED化(平成26年度)	H26以前	5
5	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	高効率照明(LED)の導入 立体駐車場の照明のLED化を実施	H28年度	19
6	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	高効率照明(LED)の導入 ラウンジ上部照明のLED化を実施	H28年度	11
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

三井不動産グループの「社会・環境への取り組み2016」をウェブサイトで公表しております。
「三井不動産トップページ」→「&EARTH 社会貢献・環境活動」
<http://www.mitsui-fudosan.co.jp/corporate/csr/2016/index.html>

ララガーデン川口の取り組み

- ・ライトダウンキャンペーンへ参加いたしました。実施期間は20時から22時(一部21時～22時)の2時間、館内外の照明を一部消灯いたしました。
- ・ララガーデン川口オペレーションセンターと近隣とで、打ち水イベントを7月に1回、8月に1回開催しました。